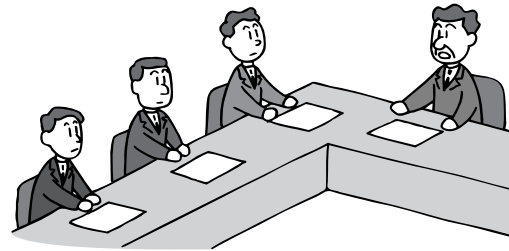


9月定例会

会期 平成26年9月11日～9月29日

平成25年度 決算認定

収入・支出の 内容をチェック



歳入歳出決算一覧

会計名	歳入総額	歳出総額	差引
一般会計	55億9,761万円	53億9,047万円	2億0,714万円
国民健康保険特別会計	22億9,954万円	22億5,079万円	4,875万円
後期高齢者医療特別会計	1億3,521万円	1億3,467万円	54万円
介護保険特別会計	12億0,758万円	11億5,936万円	4,822万円
稲取財産区特別会計	121万円	97万円	23万円
風力発電事業特別会計	1億1,496万円	1億1,320万円	176万円
水道事業会計	3億8,433万円	4億1,528万円	△3,095万円

※水道事業会計は第3条(収益的収入及び支出)決算による。

決算審査 特別委員会

決算審査特別委員会では、議員が一般会計と特別会計を審議する委員会のそれぞれに分かれて、25年度の町の会計毎のお金の使われ方について、当局側を交えて質疑を交わし、委員会として決算に関する意見をだし、それをとりまとめた報告書を議会最終日に提出した。

●一般会計審査委員会

- 委員長 内山 慎一
- 副委員長 定居 利子
- 委員 藤井 廣明
- 委員 栗田 成一
- 委員 鈴木 勉
- 委員 居山 信子

●特別会計審査委員会

- 委員長 須佐 衛
- 副委員長 山田 直志
- 委員 飯田 桂司
- 委員 村木 脩
- 委員 山本 鉄太郎

一般会計

主な質疑(歳入)

問 町税の収納率は。
答 町民税89.74%、固定資産税75.68%、軽自動車税92.80%、たばこ税100%、入湯税98.39%。
問 空き家や廃業ホテルへの固定資産税の課税は。
答 空き家であっても相続がされている親族に課税される。廃業したホテルについても課税され、納税通知書が戻ってきた場合には公示送達処理をしている。

問 普通交付税が増加した原因は。
答 普通交付税は、基準財政収入額と基準財政需要額の差額が交付される。25年度は、需要額、収入額ともに減となったが、固定資産税の減収などによる収入額の減が必要額の減を上回ったため、交付額が増加した。

問 加森観光貸付分の内容は。
答 ゴルフ場用地44万6千907坪を坪単価75円で3千351万円。その他アニマルキングダム用地30万4千205坪を坪単価90円で2千373万円、全貸付料のうち52%。残りの48%3千195万

第3回定例会が9月11日から29日までの18日間開催され、一般質問には7人の議員が登壇した。本定例会では、監査委員により審査が終了している平成25年度一般会計と特別会計(6会計)の決算審査を、決算審査特別委員会に付託し、一般会計・特別会計とも認定された。また、財政健全化法の報告や補正予算、意見書案の審議がされ、それぞれ原案のとおり可決された。

問 円が稲取4区分である。
問 土地売却収入27万6千円の内容は。

答 稲取字百姓地の土地7.5㎡を1㎡あたり3万6千890円が伊豆太陽農協に売却した。

主な質疑(歳出)

2款 総務費

問 事務事業レビューの事業評価を踏まえ、その後町はどのような対応をとったか。
答 配食サービスの委託先を社会福祉協議会から民間企業に変更し、委託料を500万円から150万円に削減することができた。メール配信事業では、登録者100%を目標に、防災訓練などの際に住民に周知するなど、加入促進に取り組んだ。

問 町の情報を携帯電話にメール配信するサービスの登録者数は。
答 25年4月で1千845人、26年4月で2千350人。この1年間で、505人(27.4%)の増。

問 エンゼルパワースポット活用事業の委託料600万円の内容は。
答 北川温泉で行ったムーンロード事業の宣伝費である。

問 町の自主運行路線バスの利用者数は。
答 25年度は4万9千823人。24年度よりも9千490人の減であった。

問 空き家調査の実績は。
答 別荘地を除く5千979件のうち856件が空き家、171件が空き店舗であった。調査した内容は、今後実施する予定の空き家バンク事業に活用する。

問 エコリゾートタウン推進事業の工事費550万円の内容は。
答 奈良本けやき公園内に小水力発電機を1台設置した。発電能力は500ワット。

問 地域の元気臨時交付金について。
答 平成24年度の国の補正予算を活用して事業に取り組んだ市町に対し国から交付されたものである。当町の交付額は、1億1千934万円。25年度は細野高原の整備や消防ポンプ車の購入など、8千276万円を使用した。残りの3千658万円は26年度の事業に充てる。この交付金は25、26年度の2か年で使い切らなければならない。

3款 民生費
問 町社会福祉協議会への補助金770万円について。
答 法人運営事業、ボランティア事業等、他から収入を得ることができない事業について、事業費の2分の1を町が補助した。平成26年度の予算編成前にヒアリングを行い補助金の使い道等を精査した。

4款 衛生費
問 子宮頸がん等ワクチン接種の実施状況は。副作用などの影響はなかったか。
答 中学1年生の女子を対象に年3回実施した。副作用などの影響はなかった。

5款 農林水産業費
問 市民農園協議会ではどのようなことを協議したのか。
答 日帰り農園の管理運営方法、費用がどれだけかかるのか、どのようにPRするのか、滞在型の市民農園が良いのか、悪いのかなど事業内容の研究

6款 商工費
問 リフォーム補助金について、世帯の中で親子で所有者が変わった場合、補助は受けられるのか。
答 3月に要綱の改正を行った。過去に同じ世帯で補助を受けても、相続等で所有者が変わった場合には、もう一度利用できるようにした。

7款 土木費
問 町営住宅の維持管理費の主な内容は。
答 部屋の水回り、床などを修理した。熱川住宅A棟のベランダの手すりの交換工事を行った。退出した部屋の改修工事を行った。

8款 消防費
問 デジタル防災行政無線の整備の内容は。
答 現場等を持っていく移動系の無線を整備した。デジタル無線機150台を1億37万円で購入した。

9款 教育費
問 学力向上のための経費が25年度決算にどう反映されているのか。
答 26年度より先生方を指導する指導主事が県費で配置されている。また、必要に応じて支援員を配置している。

10款 公債費
問 地方債(町の借金)の残高が増加した理由は。
答 デジタル無線機の購入や北川・片瀬の防災センター整